

第45号
題字 佐田一郎

発行/前橋商工会議所青年部(緑水会) 前橋市日吉町一丁目8番地の1 編集/青年部総務広報委員会
TEL 027-234-5111 FAX 027-234-8031 URL <http://www.maebashi-yeg.com>

代表幹事の一年を振り返って



前橋商工会議所青年部

代表幹事 嶋田 大和

平成十七年度の前橋商工会議所青年部(緑水会)事業も、会員の皆様の活躍と事務局・関係各位のご支援ご協力により、無事終了しようとしております。今年度「リーダーシップの素養を磨き、変化に対応する能力を鍛える」「強靱で柔軟な組織力をもつて地域社会をリードする団体となる」「地域社会から信頼され愛される団体となり、自分の役に立つ青年部となる」を基本方針に取り組んでまいりました。この一年間も本当に数多くの出来事がありました。数多くの場面に出席させていただきました。貴重な経験をさせていただき、緑水会のチームバリューを、市内はもちろんのこと県内に関東に、さらに全国にと発信してまいりました。私たちをとりまく環境の変化、また緑水会に対する信頼度の高さが感じられました。どれくらいかの達成感かは計ることはできません。会員の皆様にどれくらいのリットがあったか、地域社会にどれくらい貢献があったかわかりませんが、精一杯やってみました。

今考えてみますと、「情熱をもって・誠意をもって・感謝の気持ちをもって」を常に心掛けていたように思います。会員の皆様には個人の時間、家族の時間、経営者の時間という貴重な時間を緑水会活動に捧げていただきました。うれしい時もつらい時も仲間のみなさんがそばにいてくれました。皆様の活躍、支援があったからこそ勤まった代表幹事だと感謝しております。さらに高木市長様をはじめ市役所の皆様、曾らに我々頭様をはじめとする商工会議所の皆様、事務局の皆様、緑水会の先輩の皆様、そして関係諸団体の皆様のご理解とご厚情に感謝申し上げます。

緑水会はこのからも地域社会には必要不可欠な存在であると確信しております。信用と信頼のおける団体と確信しております。

最後に、皆様、在職中の二年間本当にご協力ご支援ありがとうございました。

直前代表幹事の一年を振り返って



直前代表幹事
山岸 直樹

平成十七年度、二年目の嶋田代表幹事のもと商工会議所青年部の活動は、行われてきました。私も二年目の直前代表幹事をさせて戴きました。

今年度を振り返ってみますと例年のことながら沢山の事業が行われたことに改めて気づかされました。中でも事業ではないのですが、印象的だったのが、今までの副幹事の名称を副代表幹事にするという決議事項です。これは、「副幹事が監事の副であるかの様に思われて、間違った伝わり方をしている。」との発言から、「その立場を明確にするよう、呼び名から変えた方が良いのでは。」との意見がまとまったからです。ただ、この決議には実は、もっと深い意味があると思いました。全国の商工会議所青年部の中で唯一、代表幹事の名称を継続している私達の誇りの現れではないでしょうか。私達は、諸先輩方の青年部活動の歴史を文化として感じ、良いところを継承してきたからだと思えました。

今後は、平成十九年度の創立三十周年の節目を念頭に置きながら、さらなる文化の継承が出来る様、会員相互の理解・協力を最大限得て活動をしていきたいと思っておりますので、より一層のご支援ご協力をお願い致します。

します。

副幹事の一年を振り返って



副幹事
石井 繁紀

本年度の事業も無事完了を迎えようとしていきます。これも会員の皆様方、そして事務局のご協力のお陰であると、深く感謝申し上げます。

本年度は、総務広報委員会・地域開発委員会を担当させて頂きました。総務では飯塚ベテラン委員長による大人の活躍をみる事ができました。また地域では、前田男芸者委員長による男つぶりの良いリーダーシップをみる事ができました。お二方とも見事に委員会を運営されていたと実感しています。

さて、年度の終わりが近づき顧みると新たな課題へ向けて進み始めた一年であったように思います。前橋まつりは、環境変化により、対応が、より一層複雑化してきました。街づくり協議会も、原点に立ち返り、毎月熱心な勉強会を実施し始めています。当会を取り巻く環境も刻々と変化していきまます。今後も様々な事が起こると思えますが、前向きな姿勢を心がけ、一歩

ずつ着実に進んで行きたいと思えます。

会員の皆様方、一年間有難うございました。来年度も引き続き、ご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

副幹事の一年を振り返って



副幹事
田島 宏明

今年度は前橋市役所をはじめ、警察、消防、マスコミ他外部団体との連携を調整する機会を多くいただきました。花火大会・前橋まつりの警備交通対策、まつりイベント案内チラシ、ローズクイーンや冬のイベント。当会の方針や内部事情を外部に伝え、快く協力しあえる環境を作っていくのは役員の責務であると感じました。当会のメンバーも他団体のメンバーも立場は違っても一人の人間であることにかわりありません。打ち解けた関係をつくることから話がスムーズに進んでいきますし、革新的な議論になるほどベースには相互理解が必要になります。当会と他団体はビジネスでの繋がりではないため独特の難しさはありますが、相互にメリットのある協力関係をつくりだ

さなければいけません。この一年間、多くの方々とお話させていただき、また活動を共にし、当会でしかできないたいへん貴重な経験をさせていただきました。皆様のご尽力、ご協力に感謝申し上げます。

副幹事の一年を振り返って



副幹事
伴 卓

今年度は、副幹事という今までとは違った立場で緑水会にかかわり、様々なことを経験することができました。このような機会を与えていただいたことを、嶋田代表幹事を初めメンバーの皆様へ感謝いたします。

さて、委員会は会員交流委員会を担当し、分かりやすい委員長のもと、フレッシュなメンバーとともに楽しく事業を実施し、参加できました。

一方、現役のメンバーを亡くすという、とても悲しいできごともありました。ご冥福をお祈りします。ご家族の悲しみを思うと胸が痛みます。緑水会活動にはいろいろな負担がかかりますが、メンバーの皆さんには健康に充分留意され、愛する人を悲しませないようにしてください。

最後になりますが一年間お世話になりました事務局の皆さんに感謝申し上げます。また来年もよろしく願います。

監事の一年を振り返って



監事
安達 一志

平成十七年度がいよいよ終わりを迎え、長かったようで短かった監事の仕事が終了致します。

嶋田代表幹事よりこの役を仰せつかり、どこまでできるか心配でした。大して役に立たない話や小言めいたジジイのような話しかできませんでしたが、なかなか楽しく過ごさせて頂きました。人前で話すのが苦手な私がよくも二年間監事が続いたものだと感心しています。監事の仕事は次年度の決算総会まで残ります。気持ちはずっかり楽になってしまいました。

今年度も各委員会におじゃまさせて頂きましたが、皆さんの元気な姿を見て今後の緑水会はまだまだ安泰だと思えました。

最後に、入会やお世話になりました会員の皆様、また事務局の皆様にお礼を申し上げます。永きに渡りまして大変お世話になりました。

監事の一年を振り返って



監事
長谷浩克

毎年、「水と緑」の原稿を書く時期になると、もう一年度が終わるのだからという思いを強くするのは私だけでしょうか。

日々、過去への反省や充実感、今後への期待や不安など、漠然と頭に浮かべたり、感じていたりはそのものです。が、仕事に追われ、また物事を体系的に捉えることがなかなかできず、その場その場の考えが、次に生かされないことが多いのも現実です。それを少しでも将来や今後に生かすために、節目・節目で活字に残しておくことは、大変有効なことではないかと考えています。

また、口で言うだけではなく、文書に残すことにより、いつそう自分の考えていることが明確になったり、目標などであれば、達成しよう・実現しようという意識が強まったりするものです。

では翻って、私の監事としての一年を、どう活字に残そうかということとは、六月発行の「水と緑」に今後一年間の抱負とともに披露させていただきま

総務広報委員長を振り返って



総務広報委員長
飯塚正人

四月、嶋田代表幹事の二期目がスタートし、六月の決算・総会、七月の愛知万博と共に開催された全国大会、十月の土浦での関東ブロック大会、一月の新春例会、そして三月の予算総会と、めまぐるしく忙しかった一年が終わろうとしています。

かねてより諸先輩たちから、「総務委員長は代表幹事の女房役だ」と教えられました。いざ自分がその任について、女房役として影で支える事が出来たのか。振りかえると自分の不甲斐なさ、情けない思いをする事も多々ありました。そんな私も、嶋田代表の強力なリーダーシップの元四人の委員長に助けられ、委員会のメンバーの協力・支えのおかげで、大難なくこの一年を過ごす事が出来ました。ありがとうございます。

会員交流委員長を振り返って



会員交流委員長
永井鉄平

早いもので嶋田代表幹事より会員交流委員長を仰せつかつてから一年が過ぎようとしています。

振り返ると担当事業の中で一番思い出深いのは「ファミリークリスマス」だと思います。

例年と違い今年度から青年部単独で行い、予算も昨年から減額される中で施行しなければなりません。その中で頭を悩ませたのがアトラクションでした。

予算をかけず皆さんに喜んでもらえるアトラクションを行わなければなりません。

そこで、OBの父と安達監事に相談した所、アトラクションでOBバンドを結成し、演奏をしてくれることになりました。(無理やりM委員長もいれられました。)

こうして盛大で思い出に残るクリスマスパーティーを行う事ができました。その協力いただきました会員、OBの皆様のおかげだと思います。

最後になりますが自分勝手な委員長に一年ついて来てくれた副委員長を始

め理事、委員の方々には感謝致します。一年間御協力有難うございました。

経営研究委員長を振り返って



経営研究委員長
福田聡樹

この一年、会員の皆さんには経営研究委員会にご協力いただき、本当にありがとうございました。昨年、代表幹事からご指名いただいた際には「まあ何とかなるさ」と簡単にお引き受けしました。試行錯誤しながら始めましたが、ついに最後まで「理想の委員長」には到達できませんでした。

委員会メンバーに支えられて、何とか務めて参りましたが、皆さん忙しい中、時間を遣り繰りして参加していただきました。それでも、熱心な仲間と一緒にイベントを成功させる喜びこそが、緑水会活動の醍醐味と感じています。

四月の観桜例会から始まり、名古屋の先進地視察(殆ど総務広報委員会に助けてもらいましたが)、曾我会頭講演会、市政との懇談会、人事労務に関する勉強会と担当して参りました。

その中で特に前橋まつり広報紙の作

成は、初めての試みながらもまずまずの仕上がりで、お祭りに来られた多くの方に喜んでいただくことができました。

この一年間本当に失敗続きでしたが、委員長を勤めさせていただいた経験は、今後の緑水会活動のみならず、仕事の面でも大いに得るものがありました。本当にありがとうございました。

地域開発委員長を振り返って



地域開発委員長
前田 修

今年度、当委員会では九月の地域振興例会に新しい企画への挑戦として「ザスパ草津」の関係者及び選手を招いての「YEGふれあいフェスティバルin前橋」を開催いたしました。当初の計画段階から実際に開催された当日までには沢山の予定変更やハプニングもありました。そして最後には台風接近で開催中止の決断をしなくてはならない場面とも遭遇させられましたが、何とか開催し終了することができました。これはひとえに委員会メンバー全員が成功させたい気持で一致団結し、他委員会の皆様からも心強い力添えが

あったからだと思えます。多大なるご協力を頂きました皆様に改めてお礼を申し上げます。

最後になりますが、本当に慌ただしく盛り沢山な委員会行事の一年間でしたが、こんな我が儘な委員長にお付きあいを頂きましたメンバー方々に感謝をしたいと思えます。『本当にありがとうございました。』

事業推進委員長を振り返って



事業推進委員長
小野 靖 浩

本年度、事業推進委員会の事業を何とか無事？に終了することができました。本当にありがとうございました。

四月、ローズ・クイーンコンテストの応募者増とローズの出演数増加・認知度向上を目指しました。結果はいま一つで反省しかりですが、力不足な委員長の元で、一年間頑張ってくれた十四代ローズには感謝しています。

八月、晴れていながら少し風もあるという最高の天候の中、花火大会を例会として担当させていただきました。

九月、海外視察研修会を実施し、バシコク日本人商工会議所やホンダの工

場見学等、とても勉強となる海外視察を二年ぶりに実行できました。

十月、前橋まつりでは鼓笛吹奏楽部会を担当し、小雨まじりの悪天候にもかかわらずの御協力のお陰で雨の間をギリギリですり抜けるようにして全校に演奏してもらうことができました。

二月、凧揚げ大会では、晴れた上に大勢の方にご参加いただきました。無料凧も豚汁も玉コンニャクも盛況でした。有料凧も初めて売り切れました。強風の為にハプニングが多々ありましたが、ケガや事故故とならず幸いでした。各行事ともですが、より安全に開催できる様、反省点を次年度に引き継いでいきたいと思えます。

六月には義父を亡くしたりと個人的にも本当に色々な事があった一年でしたが、忘れる事のできない非常に思い出深い一年とすることができました。改めて、嶋田代表をはじめとする本部役員の皆様、会員メンバーの皆様、諸先輩方、前橋市商工部並びに観光協会の皆様、会議所事務局の皆様のご指導ご協力に感謝をし、心からお礼を申し上げます。本当に一年間ありがとうございました。

卒業会員より一言

卒業にあたり一言
前橋商工会議所青年部 理事



安 達 一 志

私が緑水会に入会させていただいたのは平成元年七月でした。当時は数人の方しか知らず、今では考えられないくらいおとなしい新入会員だったはずですが、その後多くの先輩とおつきあいさせて頂き、本当に色々なことをお教え頂きました。

最後の二年間嶋田代表から監事の役を仰せつかり、どうか責任を果たせそうです。

今年度のファミリークリスマスでは、永井委員長のお計らいによりOBの先輩と一緒にバンド演奏ができたことが思い出となります。(M委員長御苦労様でした。最年少のM委員長が一番苦労されたと思います。)

現役の皆様は次々年度三十周年を控えています。お手伝いできないのが誠に残念ですが、ここで卒業させて頂きます。ありがとうございました。

卒業にあたり一言

前橋商工会議所青年部・理事

田村 秀樹



緑水会メンバーの皆さん、会議所事務局の皆さん永い間お世話になりました。

人生でなかなか経験出来ない事、教
え事でない、数々の勉強事、良い事、
とつても悪い事？緑水会メンバーで
ても良かったと、思っています。具
例を上げると、多方面に御迷惑を
かけかねないのでひかえますが。改めて、
感謝もうしあげます。残念ながら卒業
となりますが、これからも、皆さんの
お力をお借りすると思いますが、よろ
しく、お願い申し上げます。

最後に卒業旅行でお骨折り頂いた、
前田君、池下君に感謝申し上げます。
楽しい時間をもて、大変楽しい旅行
でした。これを最後といわず、またお
誘い下さい。
皆さん緑水会を楽しんで下さい。
ありがとうございました。

卒業にあたり一言

前橋商工会議所青年部

真田 昌幸



早いもので、もう緑水会を卒業する時が来てしまいました。私の場合入会が遅かったので、二年弱という短い期間でしたが、花火大会・前橋まつり・クリスマス会・凧揚げ大会等々多くの行事を通じて、会員のみなさんはもちろん、OBの先輩の方々、会議所のみなさん、その他大勢の方と出会い、大変有意義な経験を積むことができました。

私は、前橋の出身ではないので、ここで知り合うことのできた人達との関係を大切に、公私ともに長い付き合い合いができるよう心掛けていくつもりですので、今後ともよろしくお願いたします。

新入会員紹介

平成十六年四月から十七年三月までの新入会員です。

上澤 茂



入会
平成17年7月4日
会員交流委員会
(有)未来

町田 信明



入会
平成17年6月3日
会員交流委員会
(株)ブレイン
ストーミング

梅澤 史明



入会
平成17年6月3日
会員交流委員会
梅澤英数教室

塩谷 勝利



入会
平成17年6月3日
会員交流委員会
(有)ノードウェア

永井 勝人

入会

平成17年6月3日

会員交流委員会

(株)OMG

※永井勝人様には、平成18年2月3日にご逝去なされました。謹んで心よりご冥福をお祈りいたします。

鷹橋 英治



入会
平成17年11月4日
会員交流委員会
(株)アスト

養田 博美



入会
平成18年3月6日
会員交流委員会
(株)清香堂
如心の里ひびき野

小林 祐介



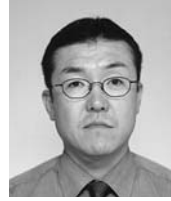
入会
平成18年3月6日
会員交流委員会
小林工業(株)

竹村 修



入会
平成18年3月6日
会員交流委員会
大黒食品工業(株)

岡 重光



入会
平成18年3月6日
会員交流委員会
群馬ヤクルト販売(株)

高橋 功二



入会
平成18年3月6日
会員交流委員会
(株)フジプランニング

第14代ローズ・クイーンの一年を振り返って

齋藤陽子



前橋市の観光大使「ローズ・クイーン」として過ごさせていだいた日々は、私の人生にとって、大変貴重な体験の連続でした。今までは、生まれ育った街として、ただ漠然と好きという思いでいましたが、いろいろな行事をお手伝いさせていただくことにより、より深く前橋を知ることができ、ますます好きになりました。と同時に、もっともっと活性化した街になつてほしい、前橋の良いところを多くの方々に知っていただきたいという思いも強くなりました。そして、ひとつの行事を行うにも、裏ではいろいろな計画を練り、準備をし、大変なご苦労があること、そして、何よりも前橋を愛する人たちがたくさんいることに気づかされました。今後は、今までの体験を生かし、前橋市のさらなる発展と活性化のためにお手伝いできたらと思っております。

前橋商工会議所青年部の方々はじめ関係団体の方々には、とても温かくご指導いただき、感謝にたえません。本当にありがとうございました。

設楽あゆみ



襷をかけていたから、一年が過ぎようとしていることに、驚いております。

色々な体験をさせて頂けて、前橋の新たな魅力をたくさん発見することができました。そして緑水会の方々が前橋を支えて下さっている事を知りました。

貴重な体験をさせて頂けたこと、大変感謝しております。本当にありがとうございました。

関根香織



ローズ・クイーンを一年間やつてきて気づいたのは、ローズ・クイーンの裏には支えてくださる方が沢山いるということです。家族や職場はもちろん、緑水会の方にもとてもお世話になりました。

最初の頃は、「前橋の代表」のような目で見られることに慣れていなくて、戸惑いを感じることもありましたが、そんな時も緑水会の方は単にちやほやするだけでなく、優しく時には厳しく一人の大人として大切に接してくださいました。私が支えてくださる方々のために頑張ろうと思えたのは生

まれて初めてです。今ではローズ・クイーンのお仕事をできる事が純粹に楽しくて仕方ありません。こんな素敵な経験をさせて頂き、どうもありがとうございました。

